

“ゼミの武蔵”ならではの少人数制プログラム！卒業生による実践的なキャリアサポート 「武蔵しごと塾 ～本番直前！模擬面接トライアル～」を開催

武蔵大学（東京都練馬区／学長 山崎哲哉）は、本学3年生を対象とした実践的な就職支援プログラム「武蔵しごと塾」を12月21日（土）に開催します。本番さながらの模擬面接などを通じてより個々の内定力を高めるプログラムとなっています。

「武蔵しごと塾」とは？

「武蔵しごと塾」は、今回で19回目を迎える卒業生によるキャリア支援プログラムです。“ゼミの武蔵”ならではの少人数制プログラムで、OBOGから丁寧なフィードバックを受けられる模擬面接が特長です。本年度は、これから就職活動を始める3年生140名、内定が決まった4年生40名、卒業生40名、総勢220名が40グループに分かれ、半日かけて模擬面接やOBOG訪問を行います。様々な業界で活躍している卒業生から、少人数グループでアドバイスを受けることにより、仕事や働き方への深い理解と就職活動本番に向けた実践的な成長の機会を得ることができます。

「武蔵しごと塾」概要

日 時：2019年12月21日（土） 13:00～18:30

場 所：武蔵大学 1号館 他

｜ 内容

13:00～ 開塾、趣旨説明

13:40～ 模擬面接・アドバイス（1回目）

14:40～ 模擬面接・アドバイス（2回目）

15:40～ 模擬面接・アドバイス（3回目）

・卒業生が面接官役となり、学生に模擬面接を行います。

・学生は、異なる3名の面接官から（計3回）模擬面接を体験でき、様々な視点からアドバイスをうけることで、自身の強みや課題を発見していきます。

17:00～ OBOG 交流会

様々な業界で活躍している卒業生と学生が、少人数グループで交流する機会です。金融、航空、コンサルティング、ITなど20以上の業界の卒業生が集結します。学生は、卒業生との交流を通じて、多様な業界・働き方の理解を深めます。

｜ 参加者の声（昨年度アンケートより抜粋）

●自分の志望する業界の方に直接お話を伺うことができ、参加してよかった ●自分の面接の何が良くて何が悪いのか知ることができた ●本番のような緊張感のある面接を、事前に経験できてよかった ●他の人の面接を見ることができて、参考になった ●OBOGからのアドバイスだけでなく、同じ就活生の意見も聞けるのはしごと塾ならではと思う ●模擬面接で自分の強み・弱みを知ることができ、改善点がはっきりした



— 本件に関するお問い合わせ先 —

武蔵大学 広報室

TEL : 03-5984-3813 FAX : 03-5984-3727 E-mail : pubg-r@sec.musashi.ac.jp

■武蔵大学〔アクセス：西武池袋線「江古田駅」から徒歩6分〕 ～都心に近く 緑豊かなワンキャンパス～

武蔵大学の前身は、東武鉄道や東京地下鉄道（現東京メトロ）など多くの鉄道事業に携わり「鉄道王」と呼ばれた根津嘉一郎（初代、1860～1940）が、1922（大正 11）年に私財を投じて創立した日本初の私立旧制七年制武蔵高等学校。戦後の学制改革により、1948（昭和 23）年4月に新制武蔵高等学校、翌年に新制武蔵大学、新制武蔵中学校が開設され、学校法人根津育英会武蔵学園として現在に至る。武蔵大学は、経済、人文、社会の3学部8学科からなる文系総合大学。一年次から4年間のゼミナールが必修で「ゼミの武蔵」といわれる。近年ではロンドン大学の学位が取得できるプログラムや国際村の設置などグローバル教育にも力を入れている。

学長 山崎哲哉 〒176-8534 東京都練馬区豊玉上 1-26-1